

# 持続的成長の為に技術者に期待すること

コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長

松崎 正年



私は、当社の持続的成長に最大限留意している。目指す企業像として、「足腰のしっかりした強い成長を続ける会社」、「世の中から支持され必要とされる会社」を掲げているのも、これらを同時に満たすことが、これからの時代に持続的成長を遂げる企業の条件と認識しているからである。

持続的成長に必要なことは何か。一つは、絶え間なき事業の進化、それによるジャンルトップポジションの獲得であり、それを支えるのが絶え間なき製品の進化、技術の進化、実行力の進化である。

現在、当社各事業は、事業の転換、事業の進化に取り組んでいる。情報機器事業は製品とサービスを組み合わせた事業へ進化しようとしており、機能性材料事業は、写真で培った技術を活かしてTACフィルムだけでなく、新しい機能性フィルムを展開する事業へと進化しようとしている。産業用機器事業は、カメラで培った技術を活かして、産業用・プロフェッショナル用の光学機器・システム、コンポーネントの集合体に事業の転換を急いでいる。ヘルスケア事業は、アナログからデジタルへの転換を果たし、診断機器とサービスで成長を遂げようとアクセルを踏み直した。インクジェット事業は、レスペーパー時代が来ても困らない、電子媒体の影響を受けない印刷分野に進出し、当社の持続的成長を支えようとしている。

私が海外機関投資家とのミーティングで、当社各事業に取り組んでいるこれらの事業転換、事業進化への挑戦ないし実績について話をすると、ある投資家は、「コニカミノルタは、進化し続ける能力が称賛に値する興味深い会社だ」とコメントされた。各事業の取り組みが実を結べば、当社は魅力的な企業になるはずである。

事業の転換、事業の進化を支えるのが製品の進化であり、既存技術の進化、新たな技術の獲得である。それを担うのが技術者の皆さんである。皆さんの挑戦と成果の状況が、テクノロジーレポートから視えるが、事業環境の変化、ニーズの変化、技術の変化に高い感度を持ち続け、挑戦を続けて欲しい。

製品の進化、技術の進化の成功には、実行力の進化も必要である。実行力とは、開発のプロセスを持ち、プロセスに応じてメソッド、ツールを有効に活用し、プロセ

スを展開する能力である。メソッド、ツール活用法の進化、メソッド、ツールそのものの進化、プロセス管理法の進化を磨き続けて欲しい。プロセスそのものの進化も必要である。シリコンバレーの企業や大学では、イノベーション・プロセスを開発して磨いている。当社においても、当社に合ったイノベーションの型を持つ必要があるだろう。

「支持され必要とされる会社を目指そう」との呼びかけに対し、国内外を問わずCSR活動に熱心に取り組んで頂いて感謝している。Dow Jones Sustainability World Indexの構成銘柄に2年連続で採用されたことに代表される様に、社外からも当社の取り組みに対し高い評価を得ている。しかし、CSR活動だけでは、「感心な会社だ」と評価はされても、言い換えれば、「支持される会社」にはなれても、「必要とされる会社」には不十分である。世の中にとって価値のある「新しい価値の創造」がなければ、「必要とされる会社」にはなれない。持続的成長を遂げるには、「新しい価値の創造」も不可欠である。

「経営理念：新しい価値の創造」の実行者は、コニカミノルタ社員全員だが、技術者の皆さんへの期待が大きいのは間違いない。なぜなら、具体的に実現手段を考えられるのが技術者だからである。まさに、コミュニケーションメッセージ“Giving Shape to Ideas”で言っている、アイデアを形にする手段を考え実現できるのが技術者だからである。但し、その時忘れてならないことは、「革新はあなたのために」。想定されるお客様を含めた、世の中にとって価値のある「新しい価値」に視点をおいて欲しい。私たち人間の本来のモチベーションは、「人々に喜んでもらう」、「世の中の役に立つ」にあるはずである。

当社は、2013年4月1日より、分社制から一つのコニカミノルタに移行した。この移行によって、従来別会社であった事業間の壁を取り払った。是非、技術者の皆さんも、見えない壁（心の壁）を作ることなく、事業間の融合、コア技術間の融合の促進により、当社ならではの新しい価値を創造して欲しい。

絶えざる事業の進化を怠ることなく、ジャンルトップを獲得し、世の中にとって価値のある「新しい価値の創造」を続けられれば、当社には明るい未来が待っている。